

## 別紙 1 : 第 55 回 HSG 研修会の Q &amp; A 宿題事項

No.	Q&A 内容		規則等
1	Q	スタンスをとった後、キャディーが後方に立つことはできませんとあるが、 ①前方に立って方向を指示することは問題ないか？ ②また、置いたものを参考にしてスタンスをとっても良いか？ ③偶然キャディーが立っていたときはどうか？	規則 10.2b (1)~(4)
	A	①はトラブルショットでグリーン方向が見えないとき、前に立ったり、持ち物(バッグ等)をおいたりしてプレー線を指示することが等が該当。ストローク開始前に離れる、或は、取り除けば OK です。 ・グリーン上ではパッティング前にラインを指などでタッチして示すことは OK ですが物を置くことは、グリーン外であっても NG です。(ストローク開始前に取り除いても NG) 例外として、旗竿に付き添うことは OK ですが「自分の左足方向に打って」等の指示は NG です。 ②は置いたものを参考にスタンスを取った時点で 2 ペナになります。違反に気づきやり直しても NG。 ③はルール上はノーペナ。しかし、プレー線指示の意図がないことをどのように証明するかが問題？ グリーン上での例外規定：ストローク前に規則 10.2b(4)違反に気づき、スタンス開始前にキャディーが離れ、最初からやり直せばペナルティ対象にはなりません。	
2	Q	救済エリアを計測するクラブは最も長いクラブ (パターを除く) としているが、それより短いクラブで計測してはいけないのか？	定義: クラブ レングス
	A	救済エリアは最も長いクラブ長で決まる半円形等になります。この決められた救済エリアの中にボールが止まっていることの確認ならば短いクラブでも OK です。しかし、短いクラブを使って測った 2 クラブレングス以上にボールが転がったとして、他の有利な場所への再ドロップは NG となります。	規則 14.3
3	Q	球を動かしたことの罰の免除が認められるが、次のような場合は罰となるか？ ①木の葉の上にボールがあった時、木の葉を取り除く際ボールが動いた場合。 ②バンカー内の石にボールが触れている時、石を取り除いた際にボールが動いた場合。	規則 15.1
	A	①、②共にルースインペディメントですので取り除くときにボールを動かした場合は 1 ペナで元の位置にリプレースします。但し、そのルースインペディメントを元に戻す必要はありません。 他方、動かせる障害物の場合、それを取り除くときボールを持ち上げても OK です。ボールは推定される元の位置にリプレースとなります。	規則 15.2
4	Q	40 秒以内に打つことは規則に記載されるか？	規則 5.6b (1)
	A	規則 5.6b(1)に明記されますが推奨です。規則 5.6a で遅延プレーの 1 回目の違反は 1 ペナ、2 回目の違反 2 ペナ、3 回目の違反を競技失格と定めています。しかし、規則だけで出来ることは限られているので委員会が独自のスピードプレー強化方針を決定、実行すべきとしています。 HSG でも度々議論されてきた難しい問題であり、今後も重要な検討課題になります。	
5	Q	ラテラル・ウォーターハザードの救済処置として、対岸の処置を使うことができないとあるが、大みかコース 4 番の 2 打以降にある右側の池の周辺ではどのような処置となるのか？	規則 17.1d
	A	新ルールの下で変更となるのは防球ネットに当たって跳ね返り、池に入った場合です。今後は 1 ペナで元の場所からの打ち直しの選択肢のみとなります。防球ネットに当たるショットは OB と同等と考えれば納得はできますが、HSG ローカルルールで対岸の救済を残すか否かは今後の検討課題です。 今回の対岸の救済廃止は「本来の救済エリアからのプレーが可能なのに、より有利な対岸の救済を選択できるのは過剰な救済だ。」ということを変更理由の一つとして説明しています。	

参考資料 : (1) [2019年の新しい規則の主要変更点の解説\(JGA版\) Final Ver.](#)

(2) [主な規則変更の簡単な解説 \(JGA版\)](#)

(3) [Rules of Golf for 2019 \(R&A.USGA\)](#)